

2022年3月9日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(JASDAQ・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル インド国 バンガロールメトロ フェーズ2 契約調印

2022年3月2日、当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二）を含む3社*の共同事業体（JV）が、バンガロールメトロ公社と「バンガロールメトロ フェーズ2」のコンサルタント業務について契約調印を行いました。

調印式はバンガロールメトロ公社(BMRCL)にて行われ、バンガロールメトロ公社からは Mr. N.M. Dhoke、Mr. D.R.K. Reddy、Mr. Jitendra Jha、Mr. Rajeev Mishra、同社からは阿部玲子さん、JV 構成員の SYSTRA からは Mr. Hari Somalraju、同じく DB Engineering & Consulting GmbH からは Mr. Nataraj K.M が参加いたしました。



本事業の実施場所であるインド南部カルナタカ州の州都ベンガルール(旧バンガロール)は、インドのシリコンバレーと呼ばれ、産業集積地としての発展を背景に経済成長を遂げています。人口増加率はインド主要都市の中で最も高く、自動車登録台数の急増に伴う交通混雑が発生し、交通渋滞は重大な問題となり、経済損失、大気汚染・騒音などの自動車公害による健康被害が深刻化していました。

ベンガルールではフェーズ1として約42kmが既に運行を始めております。フェーズ2では約133km、93駅を建設し、総延長が約175kmへ拡張し、都心部の外郭環状道路沿いや環状道路から近郊の空港までを繋ぐ空港道路沿いを含む3路線を建設する事で、増加する輸送需要への対応を図り、交通混雑の緩和を通じた自動車公害の減少、地域経済の発展、都市環境の改善及び気候変動の緩和等に寄与します。フェーズ2のうち円借款対象となるのは、車両、信号、プラットフォームスクリーンドア、施工監理のコンサルティング業務となります。

同社は 2007 年よりバンガロールでメトロフェーズ 1 の施工監理を手掛けるに止まらず、インド各都市で多数のメトロ・鉄道事業に関わっています。そこで培った技術力及びマネジメント力を生かして、今後もインド国に質の高いインフラを提供すべく、コンサルタントとして尽力する所存です。

*SYSTRA, DB Engineering & Consulting GmbH、株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

発注者 : バンガロールメトロ公社 BMRCL (Bangalore Metro Rail Corporation Limited)

コンサルタント : SYSTRA、DB Engineering & Consulting、オリエンタルコンサルタンツグローバル

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

担当 広報室 富田早季

TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020

[URL:www.ocglobal.jp](http://www.ocglobal.jp)